

地区名	地区概要	今後の課題	総合評価	B/C	技術検討会の意見(委員長案)
畑地帯総合土地改良パイロット事業  <b>小清水地区</b> (斜里町、清里町、小清水町)	事業期間：S53～H21 受益面積：畑12,910ha 事業費：898億円 受益者数：664人  主要工事： 貯水池1箇所(他地区と共用) 頭首工3箇所(1箇所は他地区と共用) 用水路421.5km、排水路9.1km 区画整理7,593ha、農地造成778ha、農道32.5km  関連事業：進捗状況 100%(平成28年度時点) 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「斜網西部地区」4,357ha 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「斜里地区」4,939ha 国営かんがい排水事業 「斜里(二期)地区」2,194ha	地域の農業生産は、本事業で整備した農業用排水施設などにより、作物の収量・品質が維持・向上し、防除用水の確保等営農作業の効率化が図られたが、着工から30年以上経過し、施設の老朽化が進行している。 地区内の農業者は、今後とも暗渠や客土などの土地改良に取り組み、良好な農業生産基盤を維持するとともに、GPSガイダンス等を取り入れ、更なる農作業の効率化を目指す必要があると考えている。 地域が目指す個性と活力のある豊かな農村を下支えするために、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	本事業及び関連事業の実施により、畑地かんがい施設、排水路の整備に加え、区画整理・農地造成と道路整備が一体的に行われ、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。 かんがい用水の安定供給により、適期にかん水、防除が行われ、環境保全型農業の展開に寄与しているほか、ほ場区画の整形・大型化が図られたことが、営農作業の効率化、経営耕地面積の拡大、野菜類の作付拡大につながり農家所得の向上に寄与している。加えて、営農にゆとりが生まれたことが、農家の6次産業化の取組等につながっている。 また、作物の安定生産が可能となったことは、道外企業の誘致につながり、地域の原材料から全国に誇る特産品が誕生する等地域の活性化に寄与している。 地域では、今後ともICT農業の導入や土づくりに取り組み、地域農業の維持・発展につなげることであり、地域農業を下支えするため、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	1.19	本事業および関連事業の実施は、かんがい用水の安定供給に貢献し、適期のかん水・防除を可能にするなど、野菜類の生産拡大と環境保全型農業の展開に寄与した。区画整理と農地の造成を一体的に実施したことは、ほ場区画の拡大等によって農作業の効率化につながり、経営の大規模化や大型機械・ICTの導入など、農作物の生産コスト削減に寄与していると評価できる。また、地域の特産物の安定生産に貢献したほか、ほ場の排水性改善が受益農家の経営安定にも寄与したと評価できる。 付加価値の高い作物の安定生産は、新たな加工品の取組につながり、地域振興にも貢献したことに加え、地域の自然環境に配慮した整備は、水生生物の保全に貢献していると認められる。 地区内の農業者は、地域農業の維持・発展のためにICT農業や土づくりなどに取り組むこととしており、今後とも地域農業を下支えするため、整備した用排水施設等を適切に維持していくことが望まれる。
畑地帯総合土地改良パイロット事業  <b>斜網西部地区</b> (網走市、大空町、小清水町)	事業期間：S58～H21 受益面積：畑4,357ha 事業費：427億円 受益者数：206人  主要工事： 貯水池1箇所(他地区と共用) 頭首工2箇所(1箇所は他地区と共用) 揚水機3箇所、用水路184.4km、排水路12.3km 農地造成453ha、農道4.0km  関連事業：進捗状況 100%(平成28年度時点) 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「小清水地区」12,910ha 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「斜里地区」4,939ha 国営かんがい排水事業 「斜里(二期)地区」2,194ha 道営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)410ha	地域の農業生産は、本事業で整備した農業用排水施設などにより、作物の収量・品質が維持・向上し、防除用水の確保等営農作業の効率化が図られたが、着工から30年以上経過し、施設の老朽化が進行している。 地区内では、集落ごとの営農集団による機械や施設の共同所有・共同作業により、徹底した効率化と投資の抑制を図り、収益の向上という裏付けによって、後継者の確保につなげてきたが、今後はビジョンをもって新たな道を切り拓く若手経営者の育成につなげていきたいと考えている。 あわせて、今後とも暗渠や客土などの土地改良に取り組み、良好な農業生産基盤を維持するとともに、GPSガイダンス等を取り入れ、更なる農作業の効率化を目指す必要があると考えている。 地域が目指す個性と活力のある豊かな農村を下支えするために、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	本事業及び関連事業の実施により、畑地かんがい施設、排水路の整備に加え、農地造成と道路整備が一体的に行われ、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。 かんがい用水の安定供給により、適期にかん水、防除が行われており、整備した用水施設は、でん粉廃液をほ場に還元することで環境保全型農業の展開にも寄与している。 また、ほ場の傾斜改良が図られたことが、衛星利用測位システム(GPS)ガイダンスと自動操舵装置を利用したトラクターの導入につながり、営農作業の効率化に寄与している。 作物の安定生産が可能となったことは、ながいもの輸出など新たな取組につながっており、地域農業の活性化につながっている。 地域では、今後とも若手経営者の育成やICT農業の導入、土づくりに取り組み、地域農業の維持・発展につなげることであり、地域農業を下支えするため、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	1.04	本事業および関連事業の実施は、かんがい用水の安定供給に貢献し、適期のかん水・防除を可能にするなど、澱粉廃液をほ場に還元することが容易になるなど、環境保全型農業の展開に寄与した。傾斜の改良等による農作業の効率化は、経営の大規模化や大型機械・ICTの導入など、農作物の生産コスト削減を実現したほか、ほ場の排水性改善が特産物の安定生産や農家の経営安定に寄与したと評価できる。 付加価値の高い作物の安定生産は、輸出の取組につながり、農家所得の向上に貢献していることに加え、地域の自然環境に配慮した整備は、水生生物の保全に貢献していると認められる。 地区内の農業者は、地域農業の維持・発展のためにICT農業や土づくりなどに取り組むこととしており、今後とも地域農業を下支えするため、整備した用排水施設等を適切に維持していくことが望まれる。
畑地帯総合土地改良パイロット事業  <b>斜里地区</b> (斜里町)  国営かんがい排水事業  <b>斜里(二期)地区</b> (斜里町)	事業期間：S61～H21 受益面積：畑4,939ha 事業費：408億円 受益者数：250人  主要工事： 貯水池1箇所(他地区と共用) 頭首工1箇所(他地区と共用) 用水路74.4km、排水機1箇所、排水路30.4km 農地造成235ha、農道6.0km  関連事業：進捗状況 100%(平成28年度時点) 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「小清水地区」12,910ha 国営畑地帯総合土地改良パイロット事業 「斜網西部地区」4,357ha 国営農地再編整備事業「以久科地区」999ha 道営畑地帯総合整備事業(担い手育成型)2,189ha 団体営基盤整備促進事業 40ha	地域の農業生産は、本事業で整備した農業用排水施設などにより、作物の収量・品質が維持・向上し、防除用水の確保等営農作業の効率化が図られたが、着工から30年以上経過し、施設の老朽化が進行している。 また、地区内排水路の流下能力不足も懸念されていることから、北海道開発局では排水路の改修に向けた調査を実施している。 地区内の農業者は、今後とも暗渠や客土などの土地改良や土づくりに取り組み、良好な農業生産基盤を維持するとともに、GPSガイダンス等を取り入れ、更なる農作業の効率化を目指している。 地域が目指す個性と活力のある豊かな農村を下支えするために、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	本事業及び関連事業の実施により、畑地かんがい施設、排水路が整備され、農作物の生産性の向上、営農作業の効率化等の効果が発現し、農業経営の安定に寄与している。 かんがい用水の安定供給により、適期にかん水、防除が行われるとともに、ほ場の排水性の改善によって、地域の特産物であるにんじんなど高収益作物の導入につながっており、近年はにんじんを輸出するなど新たな取組が行われている。 また、山間部に造成した丸山団地は、種子用ばれいしょの生産団地として、地域のばれいしょの安定生産に寄与している。 高収益作物の導入や作物の安定生産が可能となったことは、農家所得の向上のみならず、農産物加工処理施設の拡大に伴う雇用の増加によって、地域の活性化に寄与している。 地域では、今後ともICT農業の導入や土づくりに取り組み、地域農業の維持・発展につなげることであり、地域農業を下支えするため、整備した農業用排水施設の計画的な更新整備等良好な農業生産基盤を維持していく必要がある。	1.31	本事業および関連事業の実施は、かんがい用水の安定供給に貢献し、適期のかん水・防除を可能にするなど、野菜類の生産拡大に寄与した。また、地域の特産物の安定生産に貢献したほか、ほ場の排水性改善が受益農家の経営安定にも寄与したと評価できる。さらに、山間地に造成されたほ場は、病害虫の蔓延を防ぎやすく、種子用ばれいしょの安定供給に貢献している。 付加価値の高い作物の安定生産は、農作物加工処理施設の拡大に伴う雇用の増加や輸出、新たな加工品創出の取組につながり、地域振興にも寄与している。また、地域の自然環境に配慮した整備は、水生生物の保全に貢献している。 地区内の農業者は、地域農業の維持・発展のためにICT農業や土づくりなどに取り組むこととしており、今後とも地域農業を下支えするため、整備した用排水施設等を適切に維持していくことが望まれる。